

平成27年度 菅平小・中学校グランドデザイン

めざす子どもの姿

- ① 他者への感謝の気持ちを持ち続ける子ども
- ② 自分や友達の良さを認め合える子ども
- ③ 自ら考え課題を解決しようとする子ども
- ④ 困難にくじけず挑戦する子ども
- ⑤ 郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子ども

学校教育目標

郷土を拓く大地の教育

《認め合う心》《自ら学ぶ・仲間と学ぶ》《自ら鍛える心と体》

めざす教師像

- ① 子どもの良さを見つけ、励ます教師
- ② 優しく・厳しく、子どもを導く教師
- ③ 個に応じ、楽しく分かる授業を創造する教師
- ④ 地域に根ざし、地域と連携する教師

本年度の重点目標

(1) 互いの良さを認め合い、前向きに取り組む集団生活をめざす

〈重点活動〉

- ① 教師自らが子どもの良さに気づき、伝え、児童・生徒の意識を啓発する
- ② 相手意識のある「あいさつ」を心掛け、小中それぞれの段階に応じたコミュニケーション能力や、理想的な関わり方を身につける

(2) 自ら進んで学習する子どもの育成をめざす

〈重点活動〉

- ① 発達段階に応じた学習習慣を定着させていくための、小中共通した「学習の約束」の研究
- ② 学力定着につながる小中連携のあり方を追究する
- ③ 各学年の発達や個に応じた“分かりやすい授業”指導のあり方を研究していく

(3) 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる

〈重点活動〉

- ① この地に生きることの喜びを実感するために、地域との交流を仕組む
- ② 総合的な学習の時間やキャリア教育を通して、地域の農産業や観光産業を知る

道徳教育指導の重点

身近な友だちの姿に道徳的価値を見だし、共に認め合えるための指導。

人権同和教育指導の重点

- ・ 人の痛みがわかり、お互いを認め理解し、差別や偏見のない学級、学校をつくる。
- ・ 参加型体験学習を取り入れ、お互いに認め合い解決の方向が見える明るい人権同和教育を進める。

特別支援教育指導の重点

一人一人の障がいの状況や教育的ニーズを全職員で共通理解し、その子の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服できるよう支援する。

生活・生徒指導の重点

小中併設校であることを生かし、一人一人の子どもについて小中の全職員が理解し、9年間を見通した指導に努めるとともに、一人一人の個性の伸長を図る。

全校研究テーマ

どの子ども「わかった」「できた」を実感できる指導のあり方
～少人数学習や個に応じた効果的な指導の仕方を求めて～

(1) 授業改善を進めるための重点的な取組

- ① 小中共通した「学習の約束」と学年に応じた学習習慣の定着をさせる。
- ② 毎時間の「ねらい」を明確にすると共に、教材・発問・板書の工夫をする。
- ③ 授業の中で、個に応じた支援をする。
- ④ 授業の終わりに、学んだことを確認するための振り返りの場面を設定する。
- ⑤ 個に応じた家庭学習になるよう指導をする。

(2) 子どもにつける力がついたかどうかを評価するための検証方法

- ① 全国学力・学習状況調査において、正答率を上げると共に無回答を無くすようにする。
- ② 学力検査(NRT)、PDCA調査において、正答率を上げると共に無回答を無くすようにする。

(3) 教職員の指導力向上に向けた校内外研修

- ① 自己課題を設定して、1人1公開を実施すると共に、授業力向上のための研修・研究を位置づける。
- ② 職員会議の際に「子ども理解」の時間を設け、個に応じた支援を検討する。
- ③ 困難を抱えている子どもへの支援について、指導者を招き職員研修をおこなう。

特別活動指導の重点

〔学級活動〕 よりよい学級集団を目指して、互いの生活の仕方や考え方の良さを認め合っていけるような体験活動や話し合い活動を進める。

〔児童会・生徒会〕 日常的活動、奉仕活動、行事的活動の三本柱にめりはりを持たせ、特に当番活動等の日常活動を徹底させる。また、行事活動においては、独自性かつ創造性のある活動を計画できるようにし、委員長会を定期的に開き、横のつながりを持たせる。

〔学校行事〕 全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。

総合的な学習の時間の重点

探究的な学習活動により問題解決的能力を育み、友だちと考えを発表し合ったり助け合ったりして、共に追究していこうとする態度を養う。

スキー科

仲間と協力して活動に取り組み、互いを認め合う場面を設定する。自らの取り組みについては、日誌等を累積させ、自己課題を持って追究していく姿勢を育てる。

子ども理解

本校の強みと課題

- 1 開拓の歴史に立脚した農業と観光という独自性のある地域
- 2 厳しさと豊かさを併せ持った大自然に囲まれた環境
- 3 少人数学習集団（気心の知れた仲間⇔固定された人間関係）
- 4 小中連携による9年間を見通した教育活動
- 5 学校への協力を惜しまない、保護者・地域（信州型CS「TEAM SUGADAIRA」）